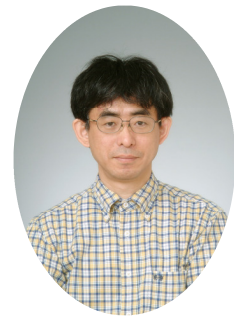


巻頭言

児童学科 糸田 尚史



今から35年前、大学1年生だった私の楽しみは「図書館」利用でした。4畳半の下宿には自分の本はまだ数冊しかなく、県立図書館・市立図書館・大学図書館に入り浸る生活をしていました。とくに県立図書館では毎日のように本を借りまわりました。図書館員さんが私の顔と名前を憶えてくれ、名乗らずとも、貸し出しカードをすっと出してもらえるようになるのは嬉しいものでした。その当時、よく借りた本は、アメリカの代表的な心理学の教科書『サイコロジー・トゥデイ』（ランダムハウス社）の日本語版『図説・現代の心理学』（講談社）全6分冊でした。1冊1,800円もしましたので、全冊購入すると1万円以上にもなってしまいます。そこで、何度も何度も借りては、内容をカセット・テープに録音し、目で読むだけでなく、耳からも聞いて学習しました。

学年が上がり、一般教養書よりも行動科学（心理学・社会心理学・社会学）の専門書を読む必要性が高まると、大学図書館の活用が多くなり、閉館までそこに居続けるのが常となりました。その結果、行動科学関係の書籍に関し、大学図書館には何があり、何がないかも詳しくわかるようになりました。午後8時に図書館が閉まっても、ゼミの教官が夜遅くまで研究室にいらして、学生の出入りも自由でしたから、夜は先生の研究室にお邪魔して勉強したり議論したりする生活へと変わっていきました。

あるとき、大学図書館に入れて学生に読ませたい専門書籍について先生が書かれたリストのチェックを頼まれました。そこにはすでに所蔵されているものがけっこう重複して記載されている一方で、先生が図書館には当然あると思われるがゆえに逆にリストから落ちている重要な専門書や新刊書のあることも瞬時にわかりました。そのことを先生にお伝えすると、本来は教官が推薦する図書のリストの作成も、次回からはひそかに学生の私が代筆していいということにしてくださいました。新刊の高価な専門書が大学生協書籍部や書店に並ぶと本当はすぐに購入して読みたいのですが、貧乏学生にはそれが難しいですから、真っ先に大学図書館に要望し、新着図書で入るといちばんに借りて読むというそんな学生時代でした。



みなさんもぜひ大学図書館を活用してください。

Science Café in 名寄市立大 第2回を行いました。

サイエンスカフェというのは、研究者の皆さんにご自身の研究の一端を紹介していただき、コーヒーなど飲みながら気軽に語り合ひましょう、という場です。名寄市立大学図書館では昨年よりスタートし、今年度は10月24日に開催、学生・教員合わせて40名ほどの参加がありました。

今回は当館の西村館長による「大腸から健康を考えるーおならは健康のバロメーター!?」をテーマにした講演に続き、フロアからも活発な質問があり、楽しい雰囲気にも包まれたひとときとなりました。

「おならの話など普段の講義では聞けない内容で、貴重な時間でした」「腸内細菌にとっても興味を持ちました」「コーヒーもお菓子もおいしくて大満足です」などの感想が寄せられました。

この講演のダイジェスト版が『広報なよろ』12月号に「名寄市立大学の窓から～知への誘い」として掲載されています。併せて、大腸と健康に関する図書も紹介しています。

*『広報なよろ』は図書館本館・分館両方にあります。



選書ツアー



図書館の図書を学生の皆さんに直接選んでもらおうという企画ですが、今年度は前期・後期の2回行いました。合わせて13名の参加者があり、ジュンク堂旭川店で約2時間、熱心に選書しました。

11月に購入された図書は現在、本館・分館ともに展示中です。学生バイヤーによる力作のポップがついている図書もあります。どうぞご利用ください。選書ツアーは来年も行おう予定ですので、あなたも、ぜひバイヤーに!!



◆こんな図書を買いました～一部紹介◆

《看護学科系》『こころを看取る 訪問看護師が出会った1000人の最期』

押川真喜子 文藝春秋 [490.14/O・本館]

『ぶっちゃけナース』岸 香里 いそっぷ社 [726.1/K・本館]

《児童学科系》『保育で大活躍!楽しいなぞなぞ&ことばあそび』アフタフ・バーン ナツメ社 2012

[376.157/A・本館]

『子どもにももらった愉快的な時間』杉山 亮 晶文社 [376.1/S・本館]

《一般教養系》『池上彰の新聞活用術』池上彰 ダイヤモンド社 [070.4/I/本館]

『つながらない生活ー「ネット世間」との距離のとり方』ウィリアム・パワーズ
プレジデント社 [007.3/P・本館]

『ゼロからトースターを作ってみた』トーマス・トウェイツ 飛鳥新社 [500/T・分館]

《栄養学科系》『最新 子どもの食と栄養』飯塚美和子ほか 学健書院 [498.983/S・分館]

『情報が食の安全を守る』神山美智子・山口英昌 旬報社 [498.54/K・分館]

《社会福祉系》『ソーシャルワーカーという生き方』鈴木真理子 中央法規 [369.17/S・分館]

『障害者の経済学』中島隆信 東洋経済新報社 [369.27/N・分館]

卒論を語る！

社会福祉学科の卒業論文は11月30日が締め切りでした。書き終えてほっと一息という4年生の4名に、卒論提出までの道のりについてインタビューしました。

■木末賢志くん

Q.どんなテーマですか？

A.介護職の医療行為について、です。3年生のゼミの段階では、認知症のことと、この介護職のことの2点に関心があったのですが、ちょうど今年法改正があり、介護職の医療行為が拡大化の流れがあるということで、こちらを選びました。

Q.どのように研究を進めましたか？ 苦労したことは？

A.文献研究と事例研究を並行していこうと思ったのですが、事例がなかなか見つからず苦労しました(-_-) 僕らの立場では、実際に介護職の方々に話を聞くのは難しく、新聞記事や雑誌記事を手当たり次第に探しました。結局、『福祉新聞』がいちばん役に立ちました。

Q.そのほかは順調に？

A.いや、今年は5月・9月と、2回実習があり、公務員試験の準備もあって忙しかったので、書くのも飛び飛びになってしまいました。でも、学校に戻ってきて友人と会うとリラックスできて、またやる気もわいてきたのがよかったなぁと思います。



■川村茉莉子さん

Q.どんなテーマですか？

A.4年間、サークル活動で関わってきたスペシャルオリンピックス（以下SO）の東北地区の現状を調査しました。自分、岩手出身なので、東北地方のSOはどんな現状なのだろうって。

Q.では、現地調査を？

A.はい、夏休みを利用して、東北6県全部まわりました！各県の1～2名の方にインタビューしたんですが、アポを取るのに電話するだけでドキドキでした（笑）。でも、実際にお会いするとみなさん快く答えていただき、うれしかったです。行った甲斐がありました。

Q.文献研究などは？

A.SOについての図書は、あまり図書館になかったので、ネット通販で10冊くらい買いました。図書館にリクエストしてもよかったのですが、私は図書に書き込みしたいほうなので。論文はCiNiiからダウンロードしたり、先生から専門雑誌を借りたりしました。

Q.他に大変だったことはありますか？

A.意外にも担当の先生の指導を受けることです！効率よくアドバイスをもらうには、ポイントを絞るとか、積極性をアピールするとか、指導されるのにも技術がいるんだな〜と。私はインタビュー部分が多くて枚数が増え、出来上がったのは締め切りぎりぎりでした。



■長谷部勝也くん

Q.どんなテーマですか？

A.岡山孤児院における里預制に注目しました。3年次の遠軽家庭学校での実習が大きなきっかけとなっているのですが、実は100年も前に岡山孤児院が実践していたことが、現代の地域福祉に求められているネットワーク構築と非常に近いように思ったのです。

Q.研究の方法は、文献研究が中心？

A.はい、資料をひたすら集め、ひたすら読みました。ちょっと集めすぎましたけど（笑）内容を吟味するのが大変でした。でもとてもよい先行研究に出会い、考えが深められたと思います。ただ岡山孤児院についての研究者が意外に少ないのに驚きました。

Q.では、長谷部君もその数少ない研究者の仲間入りですね？

A.それは……。でも福祉系に限らず興味関心はいろいろありますから、更に勉強していきたいです。今回、一つのことになんか何か月もつぎ込んで、苦しい反面、楽しくもあり、いい経験でした。



■朝妻小百合さん

Q.どんなテーマですか？

A.小樽育成院とその創立者・奥水伊代吉に焦点をあてました。北海道民なのだから、北海道の福祉の歴史を研究してみようと思い、そこにたどりつきました。

Q.苦労したことはありましたか？

A.当時、小樽育成院で発行していた雑誌を見たかったのですが、記事の情報もなく、所蔵している図書館も非常に少なくて迷っていたら、図書館員の方に「少しでも気になるのであれば、実際に所蔵している図書館へ行ってみてはどうですか？」と勧められました。で、思い切って北大の図書館へ行きました。北大の図書館など初めてなので、入るだけで緊張のあまり吐きそうでした(笑)。でも、無事に雑誌記事のコピーも取れて、行ってよかったです!!

Q.それは良い経験でしたね。満足のいく卒論になったことでしょうか？

A.いえ(笑)、勉強不足は否めません。ただ、研究が浅いうちは担当の先生もそれなりの指導しかしてくれませんが、少し深めるとまた違ったアドバイスをいただけて、そういう変化がうれしかったり、やりがいになったりするんだな、と実感しました。



インタビューに快く応じてくださった皆さん、ありがとうございました。どの方も「充実した4年間でした。この大学で学んで、本当によかったです」と言っていたのが印象的でした。

お知らせ



Facebook 始めました

図書館からの発信をもっと積極的に！ということで、12月より名寄市立大学図書館のページを開設しました。展示や新着図書を紹介などを書き込んでいきます。どうぞ訪問してみてください。

年末年始・冬季休業中の開館・閉館は次のとおりです

- 年末年始の休館…12月29日(土)～1月6日(日)
- 短縮開館…12月27日(木)～1月15日(火)

本館：9:00-19:00 分館：9:00-17:00



試験前には土曜日も開館します

後期試験に合わせ、土曜開館を3回行います。どうぞご利用ください。

- 開館日 1月26日、2月2日、2月9日
- 開館時間 9:00-16:00
- 振替休館 2月25日(月)、3月12日(火) *入学試験日です。

★編集後記★

12月にしては記録的な大雪となり、驚きましたね。除雪にも疲れ果てました。



さて、今年の漢字は「金」でしたね。図書館的には金メダル級のことはありませんでしたが、皆さんの学生生活が光り輝くよう、ひっそりと祈っています♡

図書館だより

2012年第3号

2012年12月17日発行

名寄市立大学図書館運営委員会

〒096-8641

名寄市西4条北8丁目

名寄市立大学図書館

